



ロシアのウクライナ軍事侵攻に強く抗議し 平和で安定した世界を求める街頭行動



ロシアのウクライナ侵攻に抗議する
連合福島 今野 泰 会長

連合福島は、3月8日（火）17:30より、福島駅東口エスタビル前において緊急の「ロシアのウクライナ軍事侵攻に強く抗議し平和で安定した世界を求める街頭行動」を取り組んだ。緊急の取り組み要請も無い中、多くの賛同者がアピールボードを掲げた。

冒頭、連合福島を代表し今野 泰会長は、「本日3月8日は国際女性デーであり、持続可能な明日に向けてジェンダー平等をテーマに世界各地でイベントが取り組まれている。

このような取り組みを前に、2月24日、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻が始まり、現地では今も戦闘が続いている。そしてロシアは原発や関連施設を砲撃し、掌握したとの発表もある。今、まさにこの時、ウクライナを始め周辺諸国、世界の平和な暮らしが脅かされている。ロシアの自国政権に留めようと

する侵攻は、平和解決の為に結ばれた、ミンスク合意を破棄した暴挙と言える。何よりウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務付ける国際法に関する道義に反する行為以外の何物でもない。

日本は、長崎・広島への原爆投下により多くの尊い命が奪われ、今なお後遺症に苦しむ多くの方々がいる。この行為は、核兵器のない世界に向け努力を続ける日本、国際社会への背信であり、到底看過できるものではない。世界で唯一の被爆国の国民として、あのような悲劇を繰り返させてはならない。

連合福島は、ロシアの軍事侵攻をはじめとした、一連の行為に強く抗議し、即時の作戦中止と撤退を求める。そして、政府に紛争の平和的解決を定めた国連憲章と国際法にもとづき、国際社会と緊密に連携し、事態収拾に向けた動きを強く求め、避難者の安全確保、人道的支援の迅速な対応も求める。

東日本大震災、原発災害から間もなく11年を迎える。私たちは命の尊厳と、日常の大切さ、ありがたみを片時も忘れたことはない。オール福島の下で艱難辛苦の取り組みが続く一方で、支援が今でも国内問わず、世界から届けられている。今度は私たちがウクライナの人達に思いを馳せ、平和と国民の安全を心から願う」と挨拶した。

最後に、諸橋 誠敏事務局長より連合福島の抗議アピールをし、街頭行動を打ち上げた。参加いただいた皆さんに心から感謝致します。



諸橋事務局長の抗議アピール



多くの賛同者がアピールボードを掲げた